

ファミリーサポートセンターのご利用を

ファミリーサポートセンターは、子育ての応援をして欲しい人や、人が互いに会員登録し、育児の相互援助活動を行う会員制の組織です。

会員の種類
会員の種類には次の3種類があります。

【依頼会員】0歳～小学校6年生までの子どもを預かってほしい人

【協力会員】心身ともに健康で、保育に熱意があり、自宅で子どもを預かることができる人

【両方会員】預けたり預かっていたり両方を兼ねてできる人

活動内容
協力会員は次のような活動を行います。活動は原則として協力会員の自宅で子どもを預かります。子どもの宿泊は行いません。

保育施設の保育開始前までの預かり
保育施設の保育終了後の預かり
留守家庭児童育成クラブ終了後の預かり
学校の放課後の預かり
子どもが軽度の病気の場合などの臨時的な預かり
冠婚葬祭・買い物など外出時の預かり
その他、会員の仕事や育児のために必要な援助

活動料金
月曜から金曜までの午前7時から午後9時までは1時間800円です。土・日・祝日や子どもが軽度の病気の場合は料金が変わってきます。

説明・登録会を開催
ファミリーサポートについて、説明会および登録会を行います。

対象 町内在住者
内容 かわにしファミリーサポートについてのお話と会員登録
入会希望者は、3cm x 2.4cmの顔写真と印鑑を持参してください

お問い合わせは、子育て学習センター(766-7800)へ。

第36回 差別をなくすために、社会全体で考えよう！
猪名川町人権・同和教育研究会を開催

人権・同和教育の研究と実践を通じて、部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消に向けて一緒に考え、実践しましょう。

午前の部は、関西大学文学部講師 上杉聰さんを講師に迎え、基調講演を行います。

午後の部は、4分科会に分かれ、研究・実践の報告を行い、交流と研究の深化と拡充を図ります。

福田康司さんが 文部科学大臣表彰 を受賞

大分県別府市ビーコンプラザで「全国体育指導委員研究協議会」が開催され、体育指導委員として長年各種スポーツ事業の実技指導および企画などに尽力し、地域スポーツの振興に大きく貢献された福田康司さん(杉生・53歳)が、文部科学大臣表彰を受賞されました。



いぎいき 健康ライフ

今年春のスギ花粉は例年並み

スギ花粉の飛ぶ2月中下旬から3月いっぱいまでは、十分な注意が必要です。3月下旬からのヒノキ花粉の時期は、よほど敏感な人でないかぎり楽に過ごせそうです。

花粉症対策の第一は花粉回避です。いわゆる花粉症グッズ(予防マスク・眼鏡)は有効とされています。花粉の多い日(テレビ・新聞・Webサイトなどの情報をチェックしましょう)の外出・洗濯物干し・布団干しを避けましょう。花粉の本格飛散前の初期療法も大切です。花粉の飛散の2週間前から服用を始めるのと良い薬や、軽い症状が出始めたら服用開始で良い薬もあります。効果が違いますので、かかりつけ医に相談してください。治療が遅れると薬剤の有効性が低下しますので、早めの治療をお勧めします。



21世紀の主役たち

兵庫県猟友会 猪名川支部



山と森を愛する猟友会の皆さんと真田町長

兵庫県猟友会猪名川支部は、現在33名の会員がイノシシを中心に狩猟を楽しんでいます。一方、外来種(アライグマ・ヌートリア)の繁殖による農林業被害の防止や、有害鳥獣の捕獲に協力願っています。

町長 日頃、イノシシをはじめ農作物の被害をもたらす有害鳥獣の防除に、ご協力いただきありがとうございます。

会長 狩猟は主に、イノシシ・シカ・カモ・キジバトで、この冬の2カ月で約30頭のイノシシを捕獲しました。イノシシを怖がる人が多いようですが、通常は人を襲うことはあまりありません。

会員 狩猟は、狩期中毎日10～15人のグループで、1日10kmくらい歩きます。よくハイカーの方にも出会います。

会員 銃で獲物を捕らえたとき、狩猟をしている者にしかわからない喜びがあります。

会員 会員も高齢化が進み、平均年齢は63歳

自然の生態系を守る
定めました。

会長 町から依頼を受け、多くのアライグマを捕獲しています。民家の軒裏に住む場合もあり、気性が荒いという繁殖力が強く、天敵もいなくて雑食のことから捕獲を進めないと自然の生態系が壊れます。

町長 皆さんの狩猟は、町の豊かな自然を守るうえからも重要な役割を果たしています。今後とも、健康に留意され活躍を期待しています。

【午前の部】 基調講演(午前10時15分～正午、文化体育館小ホール)
演題「部落史が変わった!」
講師「上杉 聰さん(関西大学文学部講師)

【午後の部】 分科会(午後1時～同3時、文化体育館・中央公民館)
お問い合わせは、木津総合会館(768・0217)へ。

人権作文

おととい、二十ぶんあそびで、のぼりぼうをがんばろうとおもって行っていたら、一ねんくみの子が、「いっしょにすこくうれしかったあそび。」とてさそってくれた。わたしは、「うん。」とていって、のぼりぼうをやったらできた。なんかいもやったら、

つぎは、てつぼうもやりたくなったから、一くみの子に、「いいよ。」とていってくれたから、わたしは、「ありがと。」とていって、

「あ、ありがと。」とていって、すこくうれしかったあそび。えまわりもできて、すこくすこくうれしかったです。

白金小学校 2年 東澤瑞季さん(同校1年のとき作品)

広報いながわ「特派員」を募集

“広報いながわ”の紙面に住民の知らない猪名川町の魅力を特派員として取材し、記事をつくってみませんか。取材や編集に興味と意欲のある人を募集します。



募集人員 1人 **資格** 町内在住の普通自動車運転免許所持者(経験は問いません) **報償月額** 4万円 **仕事の内容** いながわ特派員報告の取材と紙面の編集
選考書類 審査と面接 **申込方法** 市販の履歴書に必要事項を記入し、「いながわ特派員として取材したい話題」をテーマにした原稿用紙2枚(800字)程度の作文(ワープロ可)を添付
申込み・問い合わせは、2月20日までに広報室(766-8707)へ。

